

主題：

新約正典の中のすばらしいキリスト

メッセージ 1

マルコによる福音書における、イエスにある実際についての鳥観図にしたがって、
キリストのからだの実際の中に生きる

聖書：エペソ 4:20-24. マルコ 1:15, 35. 4:23-25. 8:22-26. 6:45-52. 9:7-9. 10:45. 16:7

I. 神の心の願いは、イエスにある実際、すなわち、四福音書に記録されているイエスの神・人の生活が、キリストのからだの多くの肢体の中で、実際の霊によって複製され、キリストのからだの実際、すなわち、神のエコノミーの最高峰となることです——エペソ 4:20-24, 3-4：

- A. キリストのからだの実際は、成就された神・人の団体の生活です。彼らは最初の神・人であるキリストの模範にしたがって、彼らの古い人の天然の命を否むことによって、新しい人の神聖な命を生きます——マルコ 8:34. ローマ 6:4-6. ガラテヤ 2:20. エペソ 3:16-17 前半. I ペテロ 2:21。
- B. キリストのからだの実際は、実際の霊、すなわち、わたしたちの霊とミングリングされたイエスの霊です。イエスの霊は、イエスにある実際、イエスの神・人の生活を含みます——ヨハネ 16:13. 使徒 16:7. ローマ 8:16. I コリント 6:17。
- C. わたしたちはミングリングされた霊の中で生きるとき、実際の霊によって、イエスにある実際にしたがい、マルコによる福音書における奴隷・救い主としての模範にしたがって、キリストを学びつつあります。それによって彼の伝記は、わたしたちの歴史となります。新しい人としてのキリストのからだの生活は、マルコによる福音書に啓示されたイエスの生活と、完全に同じであるべきです——ガラテヤ 6:17-18. ローマ 1:1, 9. エペソ 4:20-24. ピリピ 2:5。

II. わたしたちは、実際の霊を通して、マルコによる福音書の実際の中に入ることによって、キリストのからだの実際の中に生きる必要があります——ヨハネ 16:13：

- A. マルコによる福音書におけるイエスの伝記は、わたしたちの伝記でもあり、わたしたちの歴史でもあります。ペテロはわたしたちの代表です—— 16:7. 詩歌 763 番の 4 節：
 - 1. 復活の奴隷・救い主を見いだした三人の姉妹たちに対する御使いのメッセージの中で、「とペテロ」という句が、マルコの記録にだけ挿入されています（7 節）。マルコによる福音書はペテロによる口述を書いたものであり、彼の霊の子であるマルコ（I ペテロ 5:13）によって筆記されたものであると考えられています。
 - 2. ペテロは三度主を否むという大きな罪を犯したのですが、主は特に彼を述べました。これは福音です——マルコ 14:67-72. ルカ 15:1-7. ヨハネ 21:15-17。
 - 3. 「とペテロ」とは、ペテロのように失敗した「とあなた」を意味します。そして

わたしたちが主を失望させても、主はわたしたちを忘れてたり、見捨てたり、放棄したり、愛さなかったりすることは不可能であることを啓示しています。もしわたしたちが墮落しても、彼はわたしたちを見放さないで、彼のエコノミーのために、わたしたちを再び起き上がらせることができます——ローマ 14:4, 7-8. 申 31:6. ヨシュア 1:5. ヘブル 13:5. イザヤ 49:14-16. エレミヤ 29:11-14. 箴 24:16. 参照、雅 8:6。

B. マルコ第 6 章 45 節から 52 節が啓示しているのは、主が彼の完全なみこころにしたがって、わたしたちのために定めた道、行程を、わたしたちが捜し出し、彼をわたしたちの天の奉仕者また大祭司として、享受する必要があるということです。彼はわたしたちのためにとりなし、わたしたちを支えて、わたしたちの行程を走り終えさせ、キリストのからだの実際のために地上で天の生活を生きさせます——ヘブル 8:1-2. 7:26. 使徒 20:24. II テモテ 4:7-8 :

1. キリストの昇天から彼の再来まで、この世は長い夜の中にあります。「夜はふけて」(ローマ 13:12)、わたしたちの舟は「海の真ん中にあり」、わたしたちはまだ行程の目的地に到着していません——マルコ 6:45-48. ヨハネ 6:21. 参照、II テサロニケ 2:2. II テモテ 3:1-13。
2. わたしたちは、忠信な信者の行程が「逆風」の行程であることを認識する必要があります。忠信な信者たちが「こぎ悩んでいる」のを経験することを、認識する必要があります。わたしたちは主をわたしたちの「舟」(わたしたちの結婚生活、家庭、事業など)に迎え入れ、人生の旅路において、彼と共に平安を享受する必要があります——マルコ 6:47-51. ヨハネ 6:21。
3. 間もなく夜が明けて、主が再来しようとしているこれらの日々 (II ペテロ 1:19)、わたしたちはサタンの疲れさせる策略に抵抗して立ち (ダニエル 7:25)、キリスト・イエスにある恵みの中で力づけられ (II テモテ 2:1)、主からあわれみを受けて忠信である者となって (I コリント 7:25 後半)、彼が定めた行程を取り、彼のからだ、すなわち花嫁を建造し、彼の再来をもたらす必要があります (マタイ 16:18. 創 2:22. 啓 19:7)。

C. マルコによる福音書の実際の中に入るために、わたしたちは悔い改め、思いを変える必要があります。それは過去への悔いと、将来への転機を伴っています。悔い改めるとは、神以外のすべての事物から、神ご自身に立ち返ることです—— 1:15 :

1. 消極的な面で、神の御前に悔い改めるとは、罪や過ちを悔い改めるだけでなく、この世とその腐敗を悔い改めること (この世とその腐敗は、神がご自身のために創造した人々を横領し腐敗させます)、またわたしたちが過去において神を捨てた生活を悔い改めることです——イザヤ 55:7. II ペテロ 3:9-10, 15。
2. 積極的な面で、悔い改めるとは、あらゆる面で、またあらゆる事で神に立ち返って、人の創造における神の目的を完成することです。それは「神への悔い改め」であり、「悔い改めて神に立ち返」ることです——使徒 20:21. 26:20。
3. 命に至る、また命における神の有機的な救いに至る悔い改めは、高く上げられたキリストからわたしたちに与えられた賜物です—— 5:31. 11:18。
4. キリストは神の慈愛として、わたしたちを導いて悔い改めさせます。それは、彼のあわれみによって、わたしたちが命としての彼で改修され、造り直され、改造

されることができるといえます——ローマ 2:4. テトス 3:4-5。

5. 悔い改めは、神の新約エコノミーの神聖な要求であり、また神の新約エコノミーの宣言の主要な項目です——使徒 17:30. ルカ 24:27。

D. マルコによる福音書の実際の中に入るために、わたしたちは「彼に聞き」、「イエスだけ」を見る必要があります——9:7-9. 参照、啓 1:10, 12 :

1. わたしたちは主の言葉を聞く方法を心にとめ、主がわたしたちに聞く耳を与えて、その霊が諸召会に語っていることを聞かせてくださるように、求める必要があります。主がわたしたちに与えることができる度量は、わたしたちの聞く度量にかかっています——マルコ 4:23-25. 啓 2:7。

2. わたしたちは、主との個人的で親密な時間を持つ必要があります。それは、彼がわたしたちに彼の要素を注入して、わたしたちの視力を回復することができるためです。わたしたちはみな、さらに進んだ回復を必要とします。それは、「すべてのものがはっきり見え」るためです——マルコ 8:22-26。

III. わたしたちはマルコによる福音書における、イエスにある実際の鳥観図にしたがって、キリストのからだの実際の中に生きる必要があります。マルコによる福音書が明らかに示す完全な絵は、奴隷・救い主が、集団の人である墮落した罪人に、彼らのすべてを含む救いであるご自身をもって仕えることです。マルコによる福音書に啓示されている主イエスの生涯は、神の新約エコノミーの実際、実質、模範です——1:35-38. 10:45 :

A. マルコによる福音書が見せているのは、奴隷・救い主があわれみと恵みを持つ医者として来て、四種類の主要な病を持つ一人の全体的な病人をいやし、回復することです。神は、あわれな罪人をあわれむことを願ったように、わたしたちが愛の中で他の人をあわれむことを求めています——2:17. 12:33. マタイ 9:12-13. ミカ 6:6-8 :

1. 熱病は人の抑制されない短気を象徴し、不正常で節制のないものです。奴隷・救い主はわたしたちの病んでいる状態をいやし、わたしたちの内側の安息と平静となり、わたしたちを正常に回復して、ご自身に仕えることができるようにします——マルコ 1:29-31. イザヤ 30:15 前半. 参照、箴 15:1. 25:15。

2. らい病は最も汚し破壊する病であり、患者を神と人から隔離させます。らい病の人を清めることは、罪人を神と人との交わりに回復することを表徴します——マルコ 1:40-45. 民 12:1-10. 列王下 5:1, 9-14. マルコ 14:3. I ヨハネ 1:3。

3. 中風の者は、罪によって麻ひし、神の御前で歩き行動することができない罪人を象徴します。キリストの法理的な贖いの中で、わたしたちの罪の赦しを通して、わたしたちは神の有機的な救いの中で、その霊によって歩き行動することができます——マルコ 2:1-12. I ヨハネ 1:7, 9. ガラテヤ 5:25。

4. 血の流出、血の漏れは、命が保たれないことを表徴します。主に触れられることによって、彼の神聖な力が、彼の人性の完全さを通してわたしたちの中に注入されて、わたしたちのいやしとなります。近づきがたい光の中に住んでいる神が、奴隷・救い主の中で、彼の人性を通して触れられるものとなり、わたしたちの救いと享受となりました——マルコ 5:25-34。

B. 主は人の全存在をいやした後、真の内なる存在である心を暴露し、清めます——7:1-23。

- C. このいやしに加えて、主による三つの養うことがあります。すなわち、五千人を養うこと（6:30-44）、食卓の下の飼い犬である異邦人を養うこと（7:27）、四千人を養うことです（8:1-9）。
- D. この団体の人は、内側がいやされ、清められ、主によって養われた後、聞く器官、語る器官、見る器官の特定のいやしを必要とします—— 7:31-37. 8:14-26。
- E. 今や変貌の山の上で、耳は開かれて、御父の御子、愛する者である主イエスに聞きます。目は開かれて、「イエスだけ」を見ます。すなわち、彼が唯一の宇宙的な置き換えであり、一人の新しい人の唯一の構成要素であることを見ます—— 8:27 — 9:13. コロサイ 3:10-11。
- F. 主は彼に従う者たち、すなわち団体の人を、主のすべてを含む死と（マルコ 15:16-41）、主のすべてに卓越する復活の中にもたらしめました（16:1-18）。それは、彼らが主のすべてを超越した昇天の中で（19節）、主が彼らの命また命の供給（ヨハネ 6:35, 57）、万民の主（使徒 10:36）、神のキリスト（2:36）、召会に対する万物のかしら（エペソ 1:22-23 前半）、からだのかしら（コロサイ 1:18）、栄光を得た方（ルカ 24:26）、御座に座した方（使徒 5:31）、すべての上にあります方（エペソ 1:20-21）、すべての中ですべてを満たしている方（23節後半）であることを享受して、神の王国の実際としての新しい人を生み出し（コロサイ 3:10-11. ローマ 14:17）、新エルサレムにおいて究極的に完成するためです（啓 21:2）。
- G. 最後に、復活し昇天した奴隷・救い主である主は、ご自身の複製である弟子たちを通して福音を宣べ伝え、ご自身を全世界に拡大し、そして再び来て地上に神の王国を設立します——マルコ 16:20. ルカ 19:12. ダニエル 7:13-14. マタイ 24:14。